

## ●関西アルコール関連問題学会兵庫大会のお知らせ

ホームページ：<https://peatix.com/event/3320634/view>

日時：2022年11月26日(土)～11月27日(日)

会場：オンライン形式(後日の録画配信はありません)

申し込み締め切り：2022年11月22日

参加費：関西アルコール関連問題学会 非会員は:3000円

## ●注目のシンポジウム 11月27日(日) 9:30～12:30

### 『トラウマと依存症』

かつて「アルコール依存症治療は、とにかく断酒が優先すべきである。トラウマなど背景の問題を取り上げるとしても、断酒が安定してからの課題」と言われてきた。しかし、例えばダルクでは、せっかく断薬した若い薬物依存症者が自死してしまう例が相次ぎ、回復を支えるためには、断酒や断薬と同時並行で、生きづらさの緩和に取り組むことが必要となった。特に、近年の「生き延びるための依存症」という視点や、依存症の中心には痛みがあるという「自己治療仮説」を踏まえると、トラウマへの理解なしに断酒・断薬を求めるのは、生存を脅かす行為になりかねない。

本シンポジウムでは、さまざまなトラウマの中でも、まず、戦争や性的虐待が人間に何をもたらすかを取り上げる。次に、トラウマの視点から、女性の依存症を捉え直す。そして、依存症からの回復やサバイバルを支援するとき、どのようにトラウマを扱っていくかを実践的に提示していただく。

以上の流れで、第一線で活躍される各シンポジストからの話をもとに、「トラウマと依存症」についての論議を深めたい。

【司会】 野田 哲朗 (ひがし布施 野田クリニック 医師)  
奥田 由子 (守山こころのクリニック 公認心理師)

#### 【シンポジスト】

「アルコール・薬物依存症と戦争トラウマ」  
猪野亜朗 (泊ファミリークリニック 医師)

「性的虐待のトラウマが与える影響」  
野坂祐子 (大阪大学大学院人間科学研究科 公認心理師)

「依存症女性が抱えるトラウマ」  
信田さよ子 (原宿カウンセリングセンター 公認心理師)

「依存症とトラウマからの回復支援」  
松本俊彦 (国立精神・神経医療研究センター 医師)